

各 位

東京都品川区東品川二丁目 2 番 43 号
株式会社アマナホールディングス
代表取締役社長 進藤 博信
(証券コード: 2402 東証マザーズ)
問合せ先 管理部門担当取締役 田中 和人
TEL: 03-3740-4011
e-mail: ir@amana.jp

当社グループの経営体制再編（子会社間の吸収分割及び吸収合併） に関するお知らせ（開示事項の経過報告）

本日開催の取締役会において、株式会社アマナ（以下、アマナという。）と株式会社アマナイメージズ（以下、イメージズという。）間の吸収分割、及び、株式会社スプーン（以下、スプーンという。）と株式会社ヴィーダ（以下、ヴィーダという。）間の吸収合併について決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。なお、本件は完全子会社間における吸収分割及び吸収合併であるため、開示事項・内容を一部省略して記載しています。

記

本開示は、平成 25 年 11 月 21 日に公表しました「当社グループの経営体制再編に関するお知らせ」の経過報告です。今般のグループ経営体制の再編は、経営資源の有用利用を目的とする営業体制再編と利益創出のための制作体制の合理化促進に重点を置いております。

1. 組織再編の目的

現在、当社グループでは、ビジュアルの消費拡大に向けた積極的なマーケット拡大戦略を展開し、顧客・業界・地域の開拓をはじめ、効率的な制作環境の共有や商材・人材開発等さまざまな施策に取り組んでおります。

昨年 1 月に実施した、広告ビジュアル制作事業と広告の企画制作事業の営業部門統合による営業活動は順調に成果を上げており、さらなる営業力強化のため、領域が近いビジュアル・コミュニケーション事業とストックフォト事業の営業部門を統合することにいたしました。これにより、各事業グループが持つ業界・クライアント情報等を有効活用し、取扱商材・サービスの間口を広げ営業力の強化を図ります。

また、制作部門においては、マーケットニーズに対応する制作体制の合理化を進めることにより、創造性と効率性を同時に追求し、収益性の向上を図ります。

※ 当社グループでは、静止画・動画・CG・イラストレーションなど視覚から遡及するコンテンツを「ビジュアル」と総称し、これらビジュアルを活用・消費するマーケットを当社グループのマーケットとして捉えております。

2. アマナとイメージズ間の吸収分割（営業部門の統合）

平成 26 年 4 月 1 日付けで、イメージズが保有するストックフォト事業の営業関連事業の一部（出版・報道向けストックフォトの販売を除くストックフォトの販売、Web マーケティング、撮影ソリューション等）をアマナに統合するための吸収分割を行います。

（注）平成 25 年 11 月 21 日付けで公表した「当社グループの経営体制再編に関するお知らせ」においては、平成 26 年 1 月 1 日付けでイメージズ営業関連部門がアマナへ出向する旨をお知らせしましたが、4 月 1 日付けの吸収分割を以って一元化することになりました。

(1) 吸収分割の日程（予定）

平成 26 年 1 月 30 日	当社 取締役会	: 吸収分割契約締結の承認
	アマナ、イメージズ全取締役による決議（注）	: 吸収分割契約締結の承認
平成 26 年 1 月 30 日	吸収分割契約書締結日	
平成 26 年 3 月 21 日（予定）	アマナ、イメージズ定時株主総会	: 吸収合併の決議
平成 26 年 4 月 1 日（予定）	吸収分割の効力発生日	

（注）アマナ、及び、イメージズは取締役会非設置会社のため、全取締役による決議によって吸収分割契約締結を承認しております。

(2) 吸収分割の概要

① 分割方式

イメージズを分割会社とし、アマナを承継会社とする吸収分割方式です。

② 吸収分割に係る割り当ての内容

当社の完全子会社間の分割であるため、分割による新株発行及び資本金の増加もありません。

③ 承継会社が承継する権利義務

承継会社は、分割会社の有する営業関連事業に係るほぼすべての資産・負債（現金及び営業債権・債務を除く）及び各種契約などの権利義務を承継いたします。

④ 債務履行の見込み

本分割後、アマナが負担すべき債務については、履行の見込みに問題ないものと判断しております。

(3) 吸収分割当事会社の概要

（平成 25 年 9 月 30 日現在）

	承継会社	分割会社
(1) 名称	株式会社アマナ	株式会社アマナイメージズ
(2) 所在地	東京都品川区東品川二丁目 2 番 43 号	東京都品川区東品川二丁目 2 番 43 号
(3) 代表者	代表取締役社長 澤 幸宏	代表取締役社長 小羽 真司
(4) 事業内容（注）	ビジュアル・コミュニケーション事業	ストックフォト事業
(5) 設立年月日	平成 20 年 7 月 1 日	昭和 59 年 10 月 25 日
(6) 資本金	90 百万円	10 百万円
(7) 大株主及び持株比率	株式会社アマナホールディングス 100%	株式会社アマナホールディングス 100%
(8) 決算期	12 月	12 月
(9) 直前事業年度の財政状態および成績	（平成 24 年 12 月 31 日現在）	
純 資 産	1,517 百万円	1,559 百万円
総 資 産	2,963 百万円	2,106 百万円
売 上 高	6,551 百万円	3,071 百万円
営 業 利 益	188 百万円	95 百万円
経 常 利 益	224 百万円	130 百万円
当 期 純 利 益	335 百万円	62 百万円

（注）事業内容欄には、セグメントの名称を記載しております。

(4) 分割する事業部門の概要

① 分割する部門の事業内容

出版・報道向けストックフォトの販売を除く、Web マーケティング、撮影ソリューション等ストックフォト販売の営業関連事業の一部

② 分割する資産、負債の項目及び金額

(平成 25 年 9 月 30 日現在)

資産		負債	
流動資産	18 百万円	流動負債	6 百万円
固定資産	237 百万円	固定負債	-
合計	256 百万円	合計	6 百万円

(5) 吸収分割後の状況

	承継会社	分割会社
(1) 名称	株式会社アマナ	株式会社アマナイメージズ
(2) 所在地	東京都品川区東品川二丁目 2 番 43 号	東京都品川区東品川二丁目 2 番 43 号
(3) 代表者	代表取締役社長 進藤 博信	代表取締役社長 小羽 真司
(4) 事業内容 (注)	ビジュアル・コミュニケーション事業	ストックフォト事業
(5) 設立年月日	平成 20 年 7 月 1 日	昭和 59 年 10 月 25 日
(6) 資本金	90 百万円	10 百万円

(注) 事業内容欄には、セグメントの名称を記載しております。

3. スプーンとヴィーダ間の吸収合併 (制作部門の再編)

平成 26 年 4 月 1 日付けで、スプーンを存続会社としてヴィーダを吸収合併し、商号変更いたします。これにより、多様化するマーケットニーズに対応する制作体制を確立しながら合理化を推進し、収益性の向上を図ります。

(1) 吸収合併の日程 (予定)

平成 26 年 1 月 30 日	当社 取締役会 : 吸収合併契約締結の承認
	スプーン、ヴィーダ全取締役による決議 (注) : 吸収合併契約締結の承認
平成 26 年 1 月 30 日	吸収合併契約書締結日
平成 26 年 3 月 21 日 (予定)	スプーン、ヴィーダ定時株主総会 : 吸収合併の決議
平成 26 年 4 月 1 日 (予定)	吸収合併日

(注) スプーン、及び、ヴィーダは取締役会非設置会社のため、全取締役による決議によって吸収分割契約締結を承認しております。

(2) 吸収合併の概要

① 合併方式

スプーンを存続会社とし、ヴィーダは解散します。

② 合併に係る割当の内容

該当事項はありません。

③ 消滅会社の新株予約権及び新株予約権付社債に関する取扱い

該当事項はありません。

(3) 合併当事会社の概要

(平成 25 年 9 月 30 日現在)

	存続会社	消滅会社
(1) 名称	株式会社スプーン	株式会社ヴィーダ
(2) 所在地	東京都品川区東品川二丁目 2 番 43 号	東京都品川区東品川二丁目 2 番 43 号
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 大久保 歩	代表取締役社長 深作 一夫
(4) 事業内容 (注 1)	ビジュアル・コミュニケーション事業	ビジュアル・コミュニケーション事業
(5) 設立年月日	平成 17 年 3 月 25 日	平成 17 年 3 月 25 日
(6) 資本金	10 百万円	10 百万円
(7) 発行済株式数	200 株	200 株
(8) 大株主及び持株比率	株式会社アマナクリエイティブ 100% (注 2)	株式会社アマナクリエイティブ 100% (注 2)
(9) 決算期	12 月	12 月
(10) 直前事業年度の財政状態および成績	(平成 24 年 12 月 31 日現在)	
純 資 産	166 百万円	9 百万円
総 資 産	191 百万円	36 百万円
売 上 高	459 百万円	393 百万円
営 業 利 益	△11 百万円	△63 百万円
経 常 利 益	△9 百万円	△63 百万円
当 期 純 利 益	△17 百万円	△63 百万円

(注) 1. 事業内容欄には、セグメントの名称を記載しております。

2. 株式会社アマナクリエイティブは、平成 26 年 1 月 1 日付で株式会社スタジオアマナに商号を変更しております。

(4) 合併後の状況

本合併後において、存続会社であるスプーンは商号変更する予定ですが、名称については未定です。これ以外の所在地、代表者の役職・氏名、事業内容、資本金及び決算期については変更ありません。

4. 今後の見通し

本吸収分割及び本吸収合併は、当社の完全子会社間の吸収分割及び吸収合併であるため、当社の連結業績への影響は軽微です。

以上